～もっと地域と　もっと地域へ～

かがやくえがお

第28号

【学校教育目標】夢をもち、ふるさとを愛し、自ら未来を切り拓く児童の育成

令和８年１０月３０日
長崎市立小島小学校
校　長　　桐山　充晴

朝の玄関　開錠時刻変わる

以前から、繰り返しお知らせさせていただいていますが、来週の月曜日（11月２日）から、子供たちの登校時に玄関を開ける時刻が変更になります。

今朝、少し早目に来ている子供たちに「来週から玄関を開ける時間が遅くなるからね」と声を掛けると、「わかってま～す」と元気に返してくれました。御家庭でしっかりと伝えていただいているおかげだと感謝しています。

ここ数日は、少し気温が下がり、子供とはいえ外で待つ時間が長くなると、体調が心配になります。前回（No. 27）の学校だより「かがやくえがお」でお伝えしたように、ゆとりをもった時間を過ごし、しっかりと時刻を守って朝食をとってから登校できるよう御支援よろしくお願いします。

午前７時45分から午前８時５分までの間の登校を理想です。

気温が下がり、寒くなってくると、今以上に「遅刻」が増えるのではないかと心配しています。この点に関しても御協力よろしくお願いします。

「実りの秋」　～深めよう～

早いもので、もう１１月。「実りの秋」です。秋といえば、「食欲の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」などと言います。日本にある四季の中でも秋は、暑くもなく寒くもなく、とても過ごしやすく穏やかな気候なので、いろいろなことに集中できるといわれています。



と言いたいところですが…、一気に気温が下がり冬支度を急いでいることに違和感をもっています。

メディアでよく言われていたように、本当に「秋がなくなる!?」と心配になっています。いずれにせよ、「秋に頑張り努力したことが、冬を越し春に開花する」ことは間違いないことですので、本校でも、実りある活動を推進すべく、生活面、学習面の充実を図っています。

本日、１１月の全校集会を行い、校長講話でも、１１月のテーマは「深める」であると話しました。「深める」ということは「今よりももっと良くしていく」こととし、そのためのポイントを伝えました。　（以下、講話抜粋）

学習や生活をこれまでよりも深めるためのポイントは、特別な道具や難しい技術ではありません。毎日の生活の中で、みなさんが簡単に取り組める「３つの魔法の習慣」です。

ポイント１：時間のメリハリをつける（「集中」を深める）

質の高い学びや生活には、「集中力」が欠かせません。この集中力を深める魔法の習慣は、「時間をしっかり区切る」ことです。「休み時間と学習の時間をしっかり区別する」ことや「学校から帰ったら、まず宿題をやる！」と決めるなど、集中する時間と遊ぶ時間をはっきり分けましょう。

ポイント２：疑問を「見つける・調べる・伝える」をセットにする（「学び」を深める）

知識をただ覚えるだけでなく、深く自分のものにする魔法です。「なんでだろう？」のアンテナを張ることで、「あれ？」「どうしてそうなるんだろう？」という疑問が浮かんだら、それを逃さずメモしてください。これが学びを深めるための大切な種です。そして、「調べる→人に伝える」をセットにすることで、知識が確実なものになります。

ポイント３：「振り返り」の鏡を見る（「成長」を深める）

ただ毎日を過ごすのではなく、自分の成長を確かめる魔法です。寝る前や週末に、「今日はどんなことができたかな？」「明日は何を頑張りたいかな？」と少しだけ「振り返り」の時間をもつようにしましょう。そのときに、「できなかったこと」だけでなく、「できたこと」に目を向けると、自分の成長に気付き、「もっと頑張ろう！」という気持ちが高まっていきます。